



(C) 高嶋敏展

# 昭和記念塔

紹介展示

入場無料

出雲市 佐田町に現存 石橋和訓 設計・建立

5/10 (日)

~6/7 (日)

9~16時

休館日 (月)

会場：  
スサノオホール

(出雲市 佐田町反辺1747-4)

問い合わせ

TEL：0853-84-0833

(NPO法人スサノオの風)

ミニ講座&まち歩き

5/17 (日) 10時

参加費：無料 ※先着20名様

島根県立美術館で開催中の石橋和訓展を担当している学芸員、柳原一徳さんに石橋和訓の簡単な解説と昭和記念塔までご案内

内していただきます。和訓の故郷への想いをこの機会に知ってください。

主催：NPO法人スサノオの風、須佐コミュニティーセンター、後援：佐田地域づくり協議会、佐田ライオンズクラブ

協力：島根県立美術館、どこでもミュージアム研究所、出雲市地域おこし協力隊



(C) 高嶋敏展

昭和記念塔は石橋和訓によって昭和2年に出雲市佐田町に建立されました。和訓自身の設計で街灯を兼ねたコンクリート製のモニュメントです。壁面には「昭和記念塔」「石橋和訓 建立」「須佐神社」などの文字が刻まれています。

昭和記念塔へはスサノオホールに車を止め徒歩10分ほどです。レンタルサイクル（有料）もご利用ください。  
※記念塔への案内マップをスサノオホールで配布しています。



昭和記念塔の竣工写真 個人蔵（島根県立美術館寄託）

# 100年の時を超えて、今日も故郷、佐田を照らしています。



石橋和訓（滞英時代）個人蔵（島根県立美術館寄託）

**石橋和訓**（いしばし かずのり／わくん）明治9年（1876）6月6日 - 昭和3年（1928）5月3日

日本画家、洋画家。英国ロイヤル・アカデミー初の日本人学生。島根県飯石郡西須佐村（現在の出雲市佐田町反辺）に生まれる。幼少の頃より画才に恵まれ、周囲の助力で明治26年（1893）18歳で上京し、明治36年（1903）イギリスに渡る。ロンドンのロイヤル・アカデミーで肖像画家J.S.サージェントらに師事し、イギリスの伝統的肖像画の画風を身につける。その一方で日本画の技術も身につけており、日本画、洋画の両面での足跡を残した。日本画家、下村観山らとの交流もあった。帰国後は帝展の審査員などを務めるが、画壇とは距離を置きながら、肖像画家として活躍した。代表作に『美人読詩』や松方正義・渋沢栄一・大隈重信・若槻禮次郎らの肖像画がある。

51歳で没したことから次第に忘れられた存在となっていたが、近年の研究で業績が見直され令和8年（2026）に島根県立美術館で初の回顧展が開催されている。